

津波について正しい知識を



津波に対する正しい知識や意識を身に付けるとともに、津波発生に関する情報が発表された場合にはすぐに高台などの安全な場所へ避難することが重要です。また、地震などの発生に伴って津波発生の可能性がある場合には、気象庁から3段階の津波に関する情報が発表されます。

各段階	発表基準	予想される被害状況
津波注意報	予想される津波の高さが20cm以上、1m以下で災害のおそれがある場合	人が速い波に巻き込まれるほか、海上では小型船舶が転覆するおそれがある
津波警報	予想される津波の高さが1m（3m以下）を超える場合	海抜の低い所で浸水被害が発生するほか、人が高波に巻き込まれる場合がある
大津波警報	予想される津波の高さが3mを超える場合	木造家屋が全壊・流出するほか、人が大規模な津波に巻き込まれる可能性が高い

【避難のときのポイント】

●「徒歩で避難すること」が原則

自動車での避難は道路の渋滞に巻き込まれるおそれがあるため、可能な限り徒歩で避難しましょう。東日本大震災では、道路が渋滞し、大混乱が起きました。

また、津波による浸水の高さが2m程度になると、木造家屋は倒壊するおそれがあります。浸水が1m程度でも半壊の被害が出ることもあるため、木造家屋に住んでいる方はすぐ

に高台へ避難を開始しましょう。

「高台まで距離がある場合」や「津波の認知が遅れてしまった場合」などには、市内各所で指定されている津波避難ビルへ避難しましょう。「津波避難ビルの一覧」については、「留萌市防災ガイド・マップ」を確認してください。

●知っておくべきこと

「30cmの津波」でも人が流されるおそれがあります！ また、小さな地震でも津波は発生します。明治三陸沖地震では、震度4の揺れであったにもかかわらず、津波によって約2万人の方が亡くなっています。揺れを感じた場合にはテレビなどで必ず状況確認してください。「留萌市防災ガイド・マップ」では、津波による市内各地の最大浸水想定を掲載しています。災害に備えて避難する場所・避難経路を確認しておきましょう。



▲留萌市防災ガイド・マップ